



墨東の学び

第1学期末号
都立墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

終業式で学ぶこと！～同じ学び舎で学ぶ友が一堂に会して～

本日で1学期の学習が終了しました。終業式では同じ学び舎で学ぶ友が一堂に会す貴重な学びの機会です。

各学年の代表者に本校独自スタイルの「墨東通知表」を校長から手渡しました。学年の代表として通知表を授与される墨東生にとっては「皆の前に立つ誇らしさ」、「皆に祝福される嬉しさ」等を感じ取ることでしょう。私たち大人も、学齢期を振り返れば、合唱祭、学芸会、卒業式等で体育館ステージに登壇した数少ない機会に刻み込んだ眩しい光景と特別な嬉しさを思い起こせるのではないのでしょうか。学校在学中に、一人一人の良さを磨き出し、讃え、褒められる機会を用意することが学校の使命です。ですので、1学期中に開催されたスポーツ大会入賞者の紹介や各種検定合格証の代理授与、学校図書を意欲的に読破し、墨東生の手本となったことを讃える「読書奨励賞」等の表彰も行いました。

皆の前で誉められ・認められることで、一生涯打ち込める「芸術活動やスポーツ活動」を見出した先輩も多数おられます。皆の前で讃えられることで次の挑戦への意欲が高まります。最長で12年間に及ぶ本校在学期間の中で、どの墨東生も数度は皆の前で讃えられる機会をもてるように、良いところを見出し・伸ばすことに力を注いでいきます。

御家庭で通知表を交えた学びの振り返りを！

持ち帰りました通知表をお子様の前で広げて、その内容を読み上げていただき、今学期の手ごたえを御家族皆で分かち合ってください。学習面の「やり遂げた！」という達成感や「〇〇が分かった！」という自信が、2学期につながる今後への一層の意欲となっていきます。

新転入生保護者様へ「墨東通知表」の見方と活かし方

新入生・転入生の皆さんは本校で初めての通知表を手にします。「墨東通知表」について、改めて御説明します。

御家庭で通知表を交えた学びの振り返りを！

墨東通知表は、学びの主演である墨東生に対し、学期中に学び得た内容やその努力と成果が伝わるよう担任が工夫して作成しています。◆肢・病部門：準ずる教育課程で学ぶ墨東生には、各教科の観点別評価に基づく評定を行っています。

◆肢・病部門（訪問学級・分教室を含む）：知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程又は自立活動を主とする教育課程で学ぶ墨東生には、①最も伸ばした教科等から一つ、②次に伸ばした教科等又は今学期の重点教科等から一

つ、③その次に伸ばした教科等又は、日常生活面や給食・摂食面、校外学習や移動教室・修学旅行も含めた特別活動等や学校生活全般から一つ、計三つの学びの場面を取り上げています。分かりやすい教科等のマーク、良くできたことを褒めるサイン<良くできました！ or 金のシール！ or 花丸！>とともに学びが充実している様子が分かる画像やしっかり取り組めた教材等の画像、そして「墨東生本人向けの分かり易い簡潔なコメント」で構成しています。

夏休み期間中の開庁日・時間帯と連絡

◆今夏の学校閉庁日：8/9（金）、13（火）～16（金）

文科省及び都の働き方改革の方針の下、各校は夏季休業期間中に学校閉庁期間（4日以上）を設けて教育業務を休止し、教職員が夏季休暇を取得しやすくしています。また、本校では独自に8/5（月）～8/8（木）の連続休暇取得奨励日を設けています。

★教職員の休暇取得率の低さも課題となっていることから、学期中に取得しづらい有給休暇を取得し易くするための東京都の方策の一つです。また、宿泊学習引率教員に付与される、深夜早朝を含む時間外勤務を相殺する調整休も学期中は日々に授業があり、取得が難しいことから、この時期に未消化分を取得するように奨励しています。

★教員は休暇もなかなか取得できず、勤務時間外労働（いわゆる残業）ばかりとの“ブラック風評”が流布されています。さらに全国的に教員採用選考応募倍率の低下、4月以降の教員未配置・未補充等もニュースで話題となっています。本校では、上記のように8月に連続して休める期間を活用してしっかりと休養して英気を養い、心身をリフレッシュさせてから2学期準備を本格化させます。8/19（月）から全校が再始動し、研修・授業準備・防災訓練に打ち込みます。

開庁時間：本校の勤務時間は8：30～17：00です！

夏季休業期間中（7/21～8/31の平日）については教職員のライフ・ワーク・バランス改善の観点から定時退勤を一層奨励しています。勤務時間外にお掛りいただいたお電話には「翌日以降に改めて御連絡ください」のメッセージ応答となります。勤務時間外の労働縮減に御協力ください。また、学校閉庁期間及び休暇取得奨励期間（8/5（月）～8/16（金））の約2週間は（施設修繕対応等で）行政系職員が少数勤務するのみとなり、職員室は不在となります。

御連絡いただいた際、担任等が不在の際は、他の教職員

に御伝言ください。翌日以降となる場合もありますが、内容に応じて後日、折り返しお電話をさせていただく等、適切に対応してまいります。

夏季休業中の緊急連絡方法

予期できぬ特段の事情があり、緊急に学校と連絡を取る必要が生じた際は、上記開庁時間内に学校に御連絡ください。副校長等不在時も、経営企画室の職員が、御用件をお受けして副校長へ速やかに連絡が取れる体制となっています。

<予告>9/30・10/1に本校中1生対象の宿泊防災訓練を計画!

関東大震災の教訓から毎年9月頃に防災訓練を行うことが奨励されてきています。さらに東日本大震災以降は、その教訓を生かそうと「帰宅できない状況」を想定して学校を避難所がわりにして臨時的に宿泊する訓練を全都立高校・特別支援学校が行うようになりました。本校では中1生が主役となって宿泊防災学習を展開します。

⇒訓練の主たる対象は中1生ですが、[ここで得たノウハウを学校全体の防災体制に反映させ、全墨東生の災害時の安全度を高めることにつなげていくことが重要です。](#)中1生の保護者向けには既に説明会を行いました。震災発生、交通遮断等のリスクが生じて、下校が困難なために、学校に緊急宿泊し、翌朝駆け付けた保護者に引き渡すとの想定です。御協力をお願いします。

<8/27(火)教職員のみによる全校防災訓練を実施>

同日午後、全教職員が参集して全校規模の総合防災訓練を行います。(避難所設営訓練、仮設トイレ設営訓練、帰宅困難者支援ステーション開設訓練、初期消火訓練他)

学期中の予期せぬ被災に備えて、スタッフの習熟度を向上させ、墨東生をしっかりと守る力を蓄えるための訓練です。区防災担当者や消防署・警察署担当者等を含む本校防災教育推進委員会委員及び本校PTA役員の皆様にも訓練の視察をお願いし、一層の改善に向けて御助言等をいただく機会とします。御協力をお願いします。

実用英語検定5級合格、おめでとう!

墨東生に吉報が届きましたので、終業式の壇上で、協会に代わって校長から検定証をお渡しし、皆で讃えました。

実用英語検定5級合格 S中1：生徒

読書奨励賞を各部の墨東生に贈呈!

6月中旬からの3週間の全校読書推進月間で「好奇心」を発揮し、「探究心」を巡らせ、「向学心」につながる読書に励んだ墨東生の姿勢が、他の墨東生の励みとなるようにと願って、期間中の学校図書館からの貸出冊数に基づき、上位の方を表彰する制度です。

S小1年：児童1名、3年：児童3名、4年：児童1名、S中3年：生徒3名、S高1年：生徒1名、2年：生徒2名、3年：生徒1名。他に在宅訪問学級 児童1名、

病院訪問学級と、いるか分教室・かもめ分教室においても該当者を表彰しました。

第24回東京都障害者スポーツ大会【陸上競技】出場!

5・6月に開催の大会の結果です。健闘を讃えます。

生徒氏名	種目	記録	順位
高3 A	ビーンバック投(1組)	0m05	6位
高1 B	100m(3組)	17秒44	1位
高2 C	30m(3組)	34秒80	2位
高3 D	30m(2組)	1分15秒40	4位
高2 E	50m(2組)	1分23秒80	3位
高2 F	50m(1組)	26秒70	1位
高2 G	100m(3組)	39秒18	2位
高1 H	100m(6組)	40秒18	3位
高2 I	スラローム(1組)	1分34秒30	3位
中3 J	スラローム(2組)	1分31秒01	2位
中2 K	スラローム(2組)	1分28秒90	1位
高1 L	200m	47秒31	5位

第24回東京都障害者スポーツ大会【ボッチャ】出場!

激戦のボッチャ都大会の結果です。活躍を讃えます。

高等部第1学年 生徒 1位

全教職員対象の授業力向上研修で指導技術を研鑽します!

学習指導要領で詳しく記載されている基礎段階の学習内容を8/20、21、29に実施する全教職員向けの授業力向上研修会で研鑽すべく準備しています。お招きした宮城武久先生は、つばき教育研究所で数百人を超えるお子さんの個別学習指導の実践研究から導き出した指導理論をまとめて書籍「障害のある子どもの基礎学習」シリーズとして大手出版社から刊行されています。著作の内容を基に、子ども=学習者役と指導者=先生役の2人1組の個別指導の形態で子どもの心理を実感するとともに、指導者としての目配りや操作などを実地で御指導いただけます。今回のテーマは算数・数学の基礎である「数の合成と分解」編です。数のタイルと量を視覚的に理解しやすい並べ板の学習教材を用いて、指導者側の言葉掛け、教材の提示順序とタイミング、間違えさせないで課題をやり遂げさせるための適切な支援方法、褒め方等についても模擬指導を通して学びます。学ぶ段階はお子様によって様々ですが、指導方法(言葉掛け、課題の提示方法、学習者の視線の把握、褒め方)はどなたにでも共通するものですので、全員で学ぶことにしました。★人数的に限られますが、関心のある保護者の方も受講できますように御案内しています。

校長 田村康二郎